

定数 57人

自由民主党県議団	24人
改革 信州	13人
新政策議員団	7人
日本共産党県議団	6人
公明党長野県議団	5人
無所属	2人

現員57人
(令和5年11月1日現在)



長野県議会広報
第161号

こんにちは県議会です



令和5年9月定例会(9月21日~10月6日)の概要

知事から令和5年度一般会計補正予算案や「長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例案」などの議案が提出されました。

本会議での一般質問(37名)や委員会審査では、新条例案やゼロカーボン社会の実現に向けた取組などの環境政策、教職員の働き方改革、信州F・POWERプロジェクトなどの森林政策、交通政策など、様々な課題について活発に議論しました。

審議の結果、大雨災害からの復旧や防災・減災対策、凍霜害被害への対応など県民生活の安全・安心の確保への取組や教育環境の整備などに必要な予算を盛り込んだ総額101億4,376万円余の令和5年度一般会計補正予算案や提出された条例案など、15件を原案どおり可決、同意し、令和4年度長野県一般会計及び特別会計の決算の認定など2件を継続審査としました。

議員提出議案は、提出された10件の意見書案全てを可決しました。

可決した議員提出議案一覧

意見書は国に提出し、実現を求めました。

- ・私学助成の更なる充実を求める意見書
- ・軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書
- ・人手不足の解消等を求める意見書
- ・社会福祉法人への支援の拡充を求める意見書
- ・燃料油価格高騰対策等の適切な実施を求める意見書
- ・公立小・中学校の学校給食費の無償化の実現を求める意見書
- ・中山間地域における農業支援の充実を求める意見書
- ・地域公共交通への支援の充実を求める意見書
- ・サーキュラーエコノミー※1(循環経済)の実現を求める意見書
- ・下水サーベイランス※2事業の全国展開を求める意見書

※1 サーキュラーエコノミー…資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動。

※2 下水サーベイランス…下水中のウイルスを検査・監視すること。



本会議での主な審議

Q ……議員の質問質疑

A ……知事・部長等の答弁

議論1 環境政策

Q 今定例会に提出された「長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例案」の趣旨・目的を的確に実現し、実効性を高めるため、どのような仕組みや実施体制を整備していくのか。

A 条例案には、太陽光発電事業の構想から廃止まで、段階ごとに事業者へ報告等を含め公表する仕組みや、住民の方からの意見について、事業者へ誠実な回答を求め、可能な限り事業に反映していく仕組みなどを盛り込んだ。

また、条例の適正・的確な執行には市町村との連携・協力が不可欠であることから、事業情報の共有や市町村長からの意見の申し出の仕組みも明確化した。

これらの仕組みを円滑に運用し実効性を確保するため、事業情報の一元管理と速やかな公表、事業者向け手引きの作成、不適切事業に対する指導・勧告や違反事業の公表などを遅滞なく確実に実施できるような体制を整えていく。

Q ゼロカーボン社会の実現に向けた県民への啓発について、現状と課題をどう捉え、今後どのように取り組んでいくのか。

A 県環境保全協会と県世論調査協会が今年5月に行った調査では、「環境のためになることを実行している人」の割合は、年代が下がるほど低下する傾向が見受けられた。このことなどから、特に若年層の意識を変えていくことが課題であり、気候変動がもたらす影響等を理解し、具体的な行動につなげてもらう必要があると考える。

そのため、「信州環境カレッジ」の一環として、脱炭素をテーマにした学校での出前講座を行っており、令和4年度には約300名の方に参加いただくなど、環境問題に関心を持ってもらう取組を強化している。

今後も、個人・団体、企業、行政など多様な主体が分野や世代を超えて学び合い、情報や課題を共有し、行動する場である「くらしふと信州」を活用し、ゼロカーボンに関する情報を毎週メールマガジンで発信していくほか、大学生等と共創し、県民の行動変容につながるプロジェクトを推進するなど、取組を進めている。

議論3 森林政策

Q 森林環境に配慮した林業を促進するため、どのような施策を進めているのか。

A 「長野県森林づくり指針」では、災害リスクの低減に加え、景観面への影響や周辺環境との調和を図りながら伐採の時期に達した樹木を切る主伐や再造林を段階的、計画的に進めることとしており、取組を進めるに当たりガイドラインを策定し、調達や生産、流通の各段階で環境に配慮しながら推進している。

例えば、環境に配慮した資機材の使用や適地適木を基本とした植栽計画の作成、主伐後の景観変化のシミュレーションを行うなどの取組を推奨しているほか、ガイドラインに基づく再造林の標準的な経費を全額補助するなど、環境に配慮した施策等に誘導するとともに、林業事業者への普及、指導も進めている。

Q 信州F・POWERプロジェクトにおける発電用燃料材の調達が困難になっているが、その要因についてどのように分析し、再建への道筋をつけていくか。

A 木質バイオマス発電所が令和2年10月に操業を開始して以降、新型コロナウイルス感染症やウッドショックによる世界的な木材需給の逼迫の影響により、燃料用原木が不足する状況にあった。

また、事業主体の製材事業において、主力製品の販路拡大が思うように進まない状況にあったことなどから、製材端材を由来とする燃料材についても、影響が生じている状況にあったものと認識している。

このプロジェクトにおいては、製材事業の立て直しにより、燃料材の出荷につながる環境づくりが進むと考えており、事業主体の事業継続に向けた取組の支援を進めている。

さらに、県では新たに部局横断でチームを立ち上げ、検討を進めることとしている。

議論2 教職員の働き方改革・確保策

Q 中学校の部活動の地域移行は、指導者確保や教員の時間外の部活動への参加のあり方、さらには、子どもたちの健全育成推進の観点などを踏まえて、仕組みを構築する必要があるが、どのように考え、支援していくのか。

A 現在、スポーツ・文化芸術団体や教育関係者などで構成する「県地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会」では、子どもの健全育成の観点から、生徒の多様なニーズに対応できる活動、暴言やハラスメントのない安全・安心な活動を保障することの必要性などを共有している。

指導者の確保と質の担保の観点からは、指導者バンク構築による量の確保や、研修会実施等による質の保障が重要であると考えている。

また、時間外の部活動への参加のあり方については、まずは、休日における地域指導者の確保や教員の兼職兼業の運用から始め、それぞれの希望が実現するように努めていく。

今後も県協議会等で議論を深めながら、地域クラブ活動が目指すべき方向性を示すとともに、全ての子どもたちが将来にわたってスポーツなどに親しめるよう、市町村と連携しながら、環境整備を進めていく。

Q 教職員不足への対策として、県内で教員になることを条件とした奨学金制度の設立や、大学3年次から教員採用試験の受験を可能とする仕組みを検討すべきではないか。

A 県教育委員会では、教員不足への対応として、教員の働き方改革や処遇の改善だけではなく、県内高校生を対象としたPR活動や、採用選考における大学推薦枠や英語資格所有者枠の設置など様々な対策を講じ、教員志願者の確保につなげてきた。

保育士を目指す学生を対象とした奨学金制度や既に前倒し受験を実施している自治体の事例を参考に、これまでの取組の成果を検証しながら、検討が必要であると考えている。

議論4 交通政策

Q 現在のリニア駅へのアクセスと二次交通の検討状況はどうなっているのか。

A これまでも関係者間で各主体の役割分担や交通結節点等について検討を行ってきたが、論点や役割分担が明確でなかった面があることから、必ずしも具体的な検討に至らないものがあった。

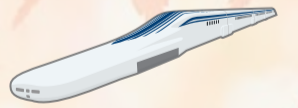
今後、関係する地域振興局や市町村だけでなく、交通事業者や観光事業者も含めた官民連携の新たな検討組織として「リニア駅アクセス検討会議」を立ち上げ、論点や役割分担等を再度整理した上で、リニア駅から長野、松本などの拠点都市を結ぶ交通手段や、伊那谷の各市町村を結ぶ交通手段などを検討していく。

また、リニア駅とJR飯田線の飯田駅等を結ぶ交通手段として、自動運転の活用や空飛ぶクルマの活用についても、併せて検討していく。

Q 鉄道路線を地域の資源、財産として、どのように守り、存続させていくのか。

A 地域にとって重要な交通ネットワークである鉄道路線を守り、存続させていくためには、自家用車に過度に依存した生活から鉄道を利用したライフスタイルへの転換促進、観光列車の運行による観光利用の促進、鉄道事業者が行う安全性向上のための設備投資への財政支援などの施策を組み合わせ、事業者の努力だけではなく、地域住民等を巻き込んだ効果的な施策を実施していく必要がある。

引き続き、鉄道を地域の財産として維持していくため、現在進めている「長野県地域公共交通活性化協議会」における協議において、具体的な施策を検討し、実施していく。



常任委員会の活動

各委員会では、9月定例会において、付託議案、所管事項に関する質疑等及び陳情の審査を行いました。各委員会の委員長報告は、県議会ホームページでご覧いただけます。また、議会の閉会中には、県の現地機関の調査、企業や団体等の視察、関係者との意見交換などを行っています。



総務企画警察委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算
- ・ヘリコプターテレビシステム機上設備の購入

【主な質疑事項等】

- ・令和6年度組織改正案について
- ・地域鉄道の安全性向上について
- ・警察組織の体制強化について

現地調査(8月31日～9月1日 東信・北信)
長野地域振興局や警察官駐在所など現地機関の調査や、地域発元気づくり支援金事業の視察などを行いました。



上田警察署西内警察官駐在所の調査

県民文化健康福祉委員会



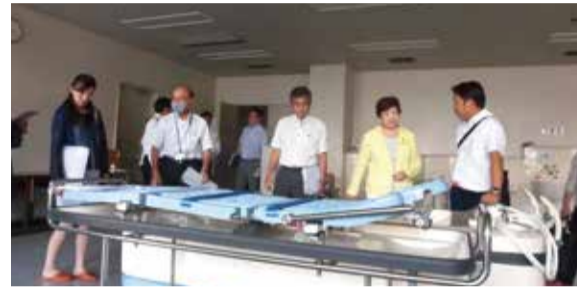
【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算
- ・子どもを性被害から守るための条例の一部改正

【主な質疑事項等】

- ・女性から選ばれる長野県を目指すリーダーの会について
- ・信州型フリースクール認証制度について
- ・医師や看護師などの人材不足について

現地調査(8月23日～24日 東信・南信)
長野県福祉大学校など現地機関の調査や、介護福祉施設や高等教育機関の視察などを行いました。



長野県福祉大学校の調査

産業観光企業委員会



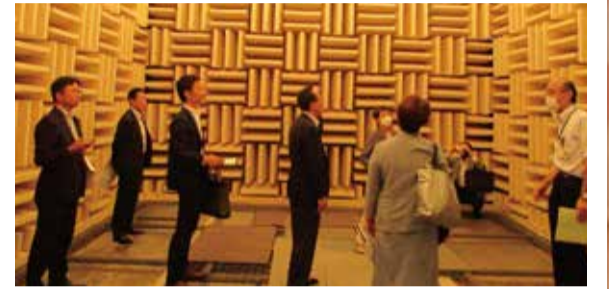
【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

【主な質疑事項等】

- ・物価高への対応について
- ・新たな観光振興財源について
- ・市町村等の水道事業者に対する支援について

現地調査(8月28日～29日 東信・北信)
工業技術総合センター材料技術部門など現地機関の調査や、産業投資応援助成金の認定企業の視察などを行いました。



工業技術総合センター材料技術部門の調査

農政林務委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

【主な質疑事項等】

- ・県産農産物の輸出について
- ・信州F・POWERプロジェクトについて
- ・水田における用水管理の省力化について

現地調査(8月7日～8日 東信・北信)
上田地域振興局など現地機関の調査や、国の実証事業に取り組む林業経営体の視察などを行いました。



森林組合の視察

危機管理建設委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

【主な質疑事項等】

- ・凍結防止剤散布車の購入
- ・土尻川の浸水被害の再発防止に向けた対策について
- ・豪雨災害等に対する早期の復旧について
- ・火山防災の強化について

現地調査(8月1日～2日 東信・北信)
消防学校などの現地機関や、土尻川の災害復旧工事の調査などを行いました。



消防学校の調査

環境文教委員会



【主な付託議案】

- ・一般会計補正予算

【主な質疑事項等】

- ・長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例
- ・長野県教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
- ・高校再編について
- ・長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例案について

現地調査(8月3日～4日 中信・南信)
寿台養護学校など現地機関の調査や、御嶽山の火山研究拠点の視察などを行いました。



木曾町御嶽山ビジターセンターの視察

最近の議会の取組

長野県議会では、県民に開かれた身近な議会となるよう、様々な活動に積極的に取り組んでいます。

○『こんにちは県議会です』地域住民等との意見交換会を実施しました

9月13日に、「長野県観光の現状と目指すべき方向性～コロナ禍からの再生に向けて～」をテーマに、議長、副議長、広報担当の議員及び各会派選出の議員が、県内各地で観光関連の仕事に携わる5団体21名の皆さんとオンラインで意見交換を行いました。

意見交換では、「外国人向けの標識やWi-Fiの拠点などの公的な環境インフラの整備」や「人材不足や訪日外国人客への対応のため、外国人労働者に対する規制緩和が必要」といった提案や、「二次交通の脆弱性が原因でリピーターにつながらない」、「宿泊施設はある程度あるが昼食をとる場所がない」など、様々なご意見をいただきました。



○高校生との意見交換会を実施します

開催日: 令和5年12月7日(木)

内容: 県高等学校長会及び県教育委員会主催の「生徒の主体性を育む交流会」に参加した高校生と議員が、「誰もが地域を移動しやすくするための環境づくり」など、高校生が提案したテーマについて、意見交換を行います。

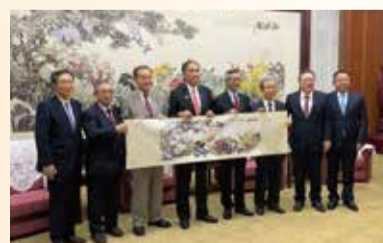
※詳細については後日県議会ホームページで公表します。

○議長が長野県訪問団の一員として、中華人民共和国(河北省・北京市等)を訪問しました

7月31日から8月4日まで、阿部知事を団長とする総勢約60名の訪中団の一員として、佐々木議長が中国を訪問しました。

河北省長野県友好提携40周年交流懇談会や歓迎レセプションに出席したほか、中国国家体育总局・中国滑雪協会や対外友好協会を訪問するなどして友好を深めました。

県議会としても、双方にメリットとなる関係の構築に協力していきます。



対外友好協会を訪問の様子

県議会広報番組をテレビ放送します



番組名: abn長野朝日放送

「ぐるっと!信州」

放送日時: 第1回 令和5年12月10日(日)

17時25分から

第2回 令和6年2月11日(日)

17時25分から

内容: 県PRキャラクター「アルクマ」とリポーターが、議会棟内を“くまなくあるいて”、県議会のしくみなどについて説明していきます。

※放送日時は、変更となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

11月定例会日程

(会期16日間)

- ▽11月30日(木) 開会
- ▽12月5日(火)～12月8日(金) 一般質問及び質疑
- ▽12月11日(月)～12月13日(水) 各委員会
- ▽12月14日(木) 総務企画警察委員会
- ▽12月15日(金) 閉会

県議会ホームページをご覧ください

※本会議のインターネット中継(生中継及び録画)については、スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。

長野県議会

検索



県議会X(旧ツイッター)をご覧ください

議会活動の情報を発信しています。皆様のフォローをお待ちしています!!

@Naganokengikai



「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。お問い合わせ、ご意見は長野県議会事務局調査課まで

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

TEL 026-235-7414(直通) ●FAX 026-235-7363

●Eメール chosa@pref.nagano.lg.jp

長野県議会ホームページ <https://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/chosa/index.html>